



生地第 121 号
平成24年3月29日

奈良県知事 荒井正吾様

生駒市長 山下 真



要 望 書

平素は、本市行政に多大なる御指導、御支援賜り誠に有難うございます。
本市は、下記の項目につき、奈良県に要望致します。

記

- 1 国の整備計画で「奈良市付近」とされているリニア中央新幹線の間
駅を関西文化学術研究都市高山地区第2工区（以下、「高山第2工区」と
言います。）に設置するよう奈良県においてJR東海や国に働きかけて頂
くことを要望致します。高山第2工区への中駅の設置は、奈良県、関西
全体、さらにJR東海にとってもメリットが大きいものと考えており、何
卒ご配慮賜りますようお願い申し上げます。詳細な要望理由は、別添資料
のとおりです。
- 2 中間駅の設置にあたり、同工区において、土地区画整理事業を行い、
駅舎や駅付帯施設、高架部分の線路等の用地を確保し、さらに、政府機関
や産業施設、研究施設等を誘致できる用地を確保するなど新たな土地活用
を進めること及び近鉄けいはんな線を延伸すること等、中間駅設置を中核
とした新たな土地活用の実現に向けて、奈良県、都市再生機構、本市等
による協議を再開することを要望致します。

3 平成24年3月22日付け日本経済新聞記事によれば、「県は複数の候補地を対象に利便性や経済効果などを調べる予定」とのことです。この調査の予定地に、高山第2工区を加えて頂きたいと要望致します。また、同調査は県民の税金を使って実施されるものですので、調査開始前に、調査予定地、調査項目、調査手法等について、候補地の市町村長の意見や広く県民の声を聴取した上で、実施して頂きたいと要望致します。

4 平成24年3月25日開催の関西広域連合の委員会において、滋賀県知事と大阪市長は京都府と京都市が目指す京都駅ルートに支持を表明しました。滋賀県知事は奈良駅ルートより京都駅ルートの方が距離が短いことを理由に挙げ、また大阪市長は「(広域連合に)奈良県がいないうちにどんどん話を進めていいのでは」と発言しました。京都府建設交通部の試算では確かに奈良駅ルートより京都駅ルートの方が距離が短いですが、所要時間は京都駅ルートの方が3分長くなっており、滋賀県知事の発言は誤解を招きかねないものです。この点、本市が提案するルートは名古屋と新大阪をほぼ直線で結ぶもので、京都駅ルートはもちろん奈良駅ルートよりも、距離、所要時間、建設費の点で優れているものです。関西広域連合にルート選定の決定権はありませんが、このような一方的な議論が報道されることは奈良県として容認すべきではありません。そのため、県知事として適時適切に反論されることを要望致します。

なお、お忙しいところ恐れ入りますが、平成24年4月末までに本要望書に対する回答を頂きたいと、併せてお願い申し上げます。